

花 通 心

発行：NPO法人加古川緑花クラブ（KRC=Kakogawa Ryokka Club）
〒675-0111 加古川市平岡町二俣884-14 （Tel/Fax：079-437-6252）



デイゴの花：小豆島

❖ 加古川市「花とみどりのまちづくり講座」を振り返って❖

講座統括責任者：安尾昌子

私が加古川市の「花とみどりのまちづくり講座（改名2015年）」を担当するようになったのは、2003年（平成15年）足掛け20年になる。講座はその半年前から開催され、当時は「花とみどりのまちづくりリーダー養成講座」という名称で、街区公園の管理者を養成することが目的であった。1年目は基礎コース、2年目はグレードアップコースの2年制で、単位数が足りないと修了できない厳しいものであった。それでも80%くらいの方が進級し、合計で70人から80人にもなる大所帯、県立淡路景観園芸学校専門課程1期修了生として赴任した私も54歳、若く青臭かった。人に指図されるのを嫌う年配の受講生も中にはいて、言うことを聞いてもらえず、でもそんなものに負けるような私ではなく毎日が真剣勝負であった。切磋琢磨の中で、自分が変われば相手も変わるという上司の助言を得て、戦うのではなく受け入れるという気持ちの芽生えと、加古川が好きと思えるようになってから、受講生とも職場の人とも仲良くなれたと思う。加古川人は最初は飛びつかないけど、こちらが誠意をもって一生懸命に接すれば、必ず助けてくれる、協力してくれると思えるようになったのは、2年目からのことだったかな。わりと早かったな（笑）。それからの私は、当時のまちづくり推進課や道路保全課から依頼を受けても断ることを知らず、2003年から2008年にかけて、道路残地に街角花壇を講座生と一緒に作り、維持管理にまい進した。2009年からは日岡山公園のリニューアルと銘打って、園内に講座ごとに花壇を作り、修了後も多くがボランティアとして今も維持管理が続いている。こんなすばらしい仕事はあるだろうか。人から「趣味が仕事でいいですね。」なんて言



パブリックアート展の準備作業中の先生

われることもある。私の壮絶な戦いを知らずに・・・と思うが、天職であったことは確かだ。加古川の暖かさと大雑把さが私に合っていた。こまごまと指示され、指図されていたらここまでやってこれなかったと思う。信用され信頼されてきたからこそ、のびのびと自分らしくやらせていただいたことに感謝している。この営みを持続可能なものにするために立ち上げた、NPO法人加古川緑花クラブのことは次回に。 乞うご期待!!

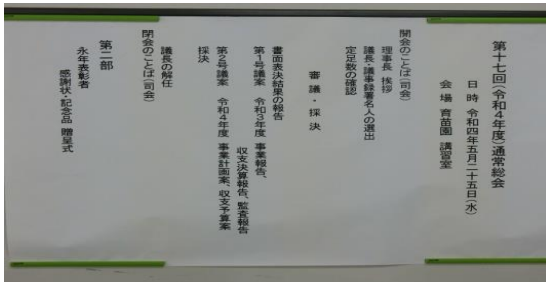


講座生とお花見を楽しむ先生

第17回 通常総会開催

令和4年5月25日（水）育苗園講習室において、第17回通常総会を開催いたしました。昨年同様に出席者を各花壇代表者、理事・監事の20名に限定し、出席者以外の会員79名は議決権行使書（葉書）で書面表決をしていただきました。（書面表決結果：承認73名、不承認0名、棄権6名）

第1号議案「令和3年度事業報告及び収支決算報告の件」、第2号議案「令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案）の件」について、報告並びに提案され、いずれも異議なく満場一致をもって承認されました。



街角花壇だより

厳しい暑さの夏真っ盛り！ 街角花壇はペンタス、ジニア、ペゴニア、ヒマワリと、さまざまな夏の植物でいっぱい！朝の散歩コースにお勧めです。



加古川駅南花壇①



加古川駅南花壇②



平野交差点 西花壇



溝之口花壇



加古川駅北花壇



良野交差点花壇



東加古川駅北花壇



平野交差点 東花壇



神野駅北花壇

永年(10年)活動表彰

2022年5月25日
第17回 通常総会において

〈感謝状を贈呈した12名〉

- ・井上 和男
- ・田中 江美
- ・橋本 万美恵
- ・前田 淑子
- ・河原 康博
- ・富井 和子
- ・藤井 正幸
- ・牧野 和彦
- ・高松 五己
- ・永吉 恭子
- ・原谷 浩子
- ・牧野 静子

加古川緑花クラブでは、入会後活動が10年を経過した会員に、感謝状と記念品を贈呈し、そのご苦勞をねぎらい努力を讃えます。今年も12名の方々が理事長より、感謝状と記念品を授与されました。背筋を伸ばし緊張気味に賞状を受取る会員の皆さんの姿は、「よく頑張ったなあ」と誇らしいオーラを放っていました。



3年ぶりに開催！ “加古川市花とみどりのフェスティバル”

コロナ感染防止のため中止になっていた「加古川市花とみどりのフェスティバル」が3年ぶりに開催されました。今回は「花とみどりのまちづくり講座」の受講生39名が中心になり、いこいの広場いっばいに「ミニガーデン」と「リングのハンギング」で会場を盛り上げました。また加古川緑花クラブによる恒例の「花壇めぐり」は、花の紹介だけでなく、①センペルセコイア②シンジュ③ホルトノキという、園内の珍しい樹木もクイズ形式で紹介し、57組（115名）の皆さんが参加されました。参加者から「どの花壇もきれいでしたが、特にフロントガーデンのネモフィラの青色が、とても美しかった。」と近年人気のネモフィラが好評でした。また「SHOP」では、会員が育てた花苗、樹木苗、多肉植物、雑貨を販売し、お客様に花の名前や育て方、ふやし方などを説明し、楽しく交流できたことは、会員にとってうれしいことでした。



ミニガーデン



リングのハンギング



SHOP



花壇&樹木めぐり 受付

♥ 令和4年度：7名の新入会員を迎えました ♥

〈新会員の皆さんと担当花壇〉

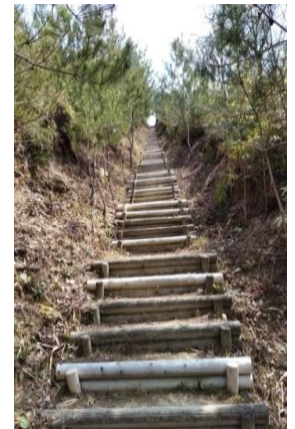
鍋島 典子	・	長谷川 三千代	(神野駅北花壇)	木原 強	(加古川駅北花壇)
竹内 敏恵			(東加古川駅北花壇)	上田 恵子	(溝之口花壇)
畑 栄作	・	辻 ケイ子	(加古川駅南花壇)		

♥ 新入会に寄せて・・・「“花”描いて、育てて、観て、楽しんで」

自宅の庭をもう少しなんとかしたい。小さな貸し農園の野菜作りにも参考にならないか。という気持ちで気軽に講座を受講することにしました。2年間受講させていただき、各種のテーマで講義を聴き実践したことで、環境を知って整えること、花壇のイメージを持つこと等などたくさん学ぶことができました。思い出はプランニング講座でのハーブガーデンの整備。トレリスの修理もあって苦勞しましたが完成。今でも花壇がきれいに維持され、「前よりきれいになったね。」の声をお聞きして、心の中で「やったね!」と自己満足できることです。市内各所の花壇が、四季折々に色を変えイメージを変えているのを見て、少しはお役に立てればの気持ちと、自分自身が楽しめればと思って、加古川緑花クラブに入会しました。加古川駅北花壇は以前から駅近くを通るたびに見ていたの、親しみがある半面、とてもきれいに整っているの、自分にも何かできるかなとの皆さんのお手伝いの気持ちで参加させていただいています。地域を明るくするのは、まずはきれいにすること、そして花を見て気持ちを和ませて過ごしていくこと、そんなささやかなことに携われればと思っています。

木原 強

「神鋼加古川森の会」は、平成26年に森林整備活動を開始しました。発会のきっかけは、数名の者が会社を退職後被災地でボランティア活動に参加し、少しは役に立ったとの充実感から、継続的に社会貢献できることはないかと、三木山森林公園での森林整備活動に参加したことです。近隣で活動の場を探したところ、加古川市から権現総合公園の森林整備作業の情報を得、退職者の仲間に声を掛けたところ54名が賛同して集まりました。当初2年間は森林活動支援事業費がありましたので道工具を揃えましたが、活動は手弁当でのボランティアです。メンバーは「俺はまだやれる！」と気持ちはファイターですが、「ボランティアは自分が楽しくやる。しんどいと思えば続かない。」をモットーに、無理をしない個人ペースで作業を行っています。活動内容は月1回の現地作業、打合せ、年行事の里山ツツジ祭りや三木山森林公園での作業ですが、主に作業するのは権現ダム湖畔にある入道山（標高101m）周辺の森林で、キャンプ場から展望台までの散策路、階段、展望台と約8haの広さです。春4月はコバノミツバツツジが山一面を覆い、6月にはササユリを見ることもあります。展望台からは南に権現ダム湖を一望でき、静かな湖面は心を安らかにしてくれます。北に目をやれば山陽道を行き交う車の流れの動線を楽しめ、自然に囲まれアウトドアライフを満喫することができます。残念なことに、今年7月から令和7年にかけて、権現総合公園の再整備のため周辺が閉鎖となりますが、令和7年には山陽自動車道権現PAと連結した大型遊具設置の、家族で楽しめる公園になる予定です。「神鋼加古川森の会」メンバーもオープンを楽しみに、老体にムチ打ち活動を継続し、入道山周辺の森林整備に努める所存です。



★ 6月の樹木観察会だより ★

「疑問を大切に」

藤本 洋二

今月は「ひよんの木」ともいわれる「イスノキ」発見の話です。現在、樹木観察会では日岡山公園内の樹木調査を実施しています。6月13日、私の班は公園東端周辺を調査中、生垣のように19本植えられている木の前で「これ何だろう」と足を止めました。グーグルレンズを当ててみると「トウオガタマ」と出たので、その日はそれで報告しました。私は疑問が残ったので図鑑を調べ、翌日、翌々日と現地へ行き観察しました。時期的に花や実や種を観察できず、葉の特徴を調べるのが精一杯です。図書館でも図鑑を借り、私はその木が「イスノキ」であることを確信しました。決め手は「生垣と虫こぶ（虫えい）」です。葉や葉の付け根にできた2種類の虫こぶを見つけることができました。運よく果実も数個残っていました。公園内に「イスノキ」は一本しかないという通説が覆り、19本もの「イスノキ」が樹木調査表に書き加えられました。話は初めに戻りますが、昔は大きな虫こぶを笛にして遊んだそうで、「ひよんひよん」と聞こえる音から「ひよんの木」ともいわれます。



葉の付け根に枝を伸ばした虫こぶ



葉にできた虫こぶ

樹木観察会のご案内

- ➡ 8月の樹木観察会はお休みです。
- ➡ 9月の樹木観察会は、9月12日（月）
13：30～ 育苗園集合

♣ <氷丘小学校 環境体験学習> ♣ ヒオカテレビ（ユーチューブ）による発信

6月1日氷丘小学校3年生120名が、日岡山公園フロントガーデンにおいて、「花の育て方・植え方」の体験学習をしました。今回はヒオカテレビによる取材があり、当クラブの本多さんがインタビューを受けました。是非ユーチューブで、当日の様子をご覧ください。

*インターネットで「ヒオカテレビ」検索→「環境体験学習」を選択

